

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	狭山市			
提案事業名	入間川あそびと憩いの空間創出事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度	
事業の必要性、目的	入間川河川敷に「やすらぎ」と「賑わい」を創出する取り組みである「入間川とことん活用プロジェクト」の一環として、交流人口の増加を目的に施設整備等を行うものである。 また、本事業は、埼玉県が推進する河川敷地の商業利用を目指しており、カフェ等の飲食店の立地により、市域のみならず流域からの来訪者を期待し、入間川河川敷全体への波及効果を見込んでいることから、当事業の必要性は高い。			
成果指標	(成果を検証する指標) 河川敷を活用したイベント来場者数(年度集計)			
	(成果検証の具体的な方法) イベントごとに集計を行う			
	(上記の指標を設定した理由) 当該ハード整備により、河川敷を活用したソフト事業の実施が期待されるため			
	(成果の目標値)			
	現状値(2019年3月現在)	32,000人	目標値(2022年3月時点)	41,500人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項				

## 【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 入間川あそびと憩いの空間創出事業	ハードソフト間接補 入間川河川敷中央公園内に、老若男女が集える憩いの場として、民間資本による飲食店舗の立地を推進し、官民連携による賑わいの創出、交流人口の増加を図る。	60,000
②	ハードソフト間接補	
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
⑥	ハードソフト間接補	
合計		60,000

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	当エリアに、単純に機能を落とし込むような整備を行うのではなく、河川と一体となった空間デザイン・整備を行い、河川全体の利用を促す。また合わせて、年間を通じたソフト事業を展開し、河川敷を利用したくなるような仕掛けづくりを継続して行う。
成果指標の達成見込み	イベント開催時は、多くの家族連れで賑わうことが想定されることから、達成できるものと考えている。